

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
16	創価大学	経営史	大場 隆広 経営学部 准教授	4	春学期	水 金	30	水 14:50~16:20 金 13:05~14:35	創価大学	若干名

【到達目標】

この講義の到達目標は以下の点です。

- 江戸時代から現代までの経済状況と日本企業の歴史的展開を把握できる
- 様々な産業に属する企業の歴史を概観し、その成功と失敗を迫体験することで、時代ごとの経済環境・各産業の特徴・企業家の役割・成功要因を理解できる
- 日本の経営の歴史を理解した上で、日本の経営について自分で問いを立て、答えを導くことができる

【授業の概要】

この講義では、日本企業の歴史的展開と企業家の活動を学びます。講義は2部構成で、第1部では、江戸時代から現代に至るまでの経営環境、経営組織・企業活動・労使関係の展開、イノベーション、日本の生産システム、日本的雇用慣行などについて学びます。第2部では、「企業家から見た経営史」という視点で、企業家を中心に企業の創業・発展・業績回復などについて見ていきます。さらに、それぞれの企業家の成功（あるいは失敗）要因は何だったのかについて、授業参加者と議論しながら、考察します。

講義では、以下の問いに取り組む予定です：「どのように、江戸時代の商人や明治時代の企業家はビジネスを行ったのか」、「どのように、日本は経済を近代化させたのか」、「日本的経営とは何か」。歴史的観点から、これらの問いを検討する予定です。

【授業内容】

- イントロダクション
- 江戸時代の企業経営 (1) 時代状況の概観
- 江戸時代の企業経営 (2) 商家経営と商家の経営組織
- 江戸時代の企業経営 (3) 商家の経営管理システム
- 明治前期・中期 (1) 時代状況の概観
- 明治前期・中期 (2) 近代的経営組織の形成
- 明治前期・中期 (3) 近代的経営管理の形成、明治国家と企業
- 明治後期から昭和初期 (1) 時代状況の概観、大企業時代の到来
- 明治後期から昭和初期 (2) 新興産業の勃興、企業活動の国際化、経営管理の進展
- 戦前から戦後へ (1) 時代状況の概観、大企業体制の変遷、労使関係の変化
- 戦前から戦後へ (2) 技術開発の推進、経営管理の展開
- 高度成長期とその後 (1) 時代状況の概観高度成長期とその後、企業集団とメインバンク・システム
- 高度成長期とその後 (2) 日本的生産システムの形成
- 高度成長期とその後 (3) 流通のイノベーション
- 高度成長期とその後 (4) 日本的雇用慣行
- 高度成長期とその後 (5) 日本的経営とその変容
- 企業家から見た経営史 (1) 松下幸之助 (パナソニック)
- 企業家から見た経営史 (2) 井深大 (ソニー)
- 企業家から見た経営史 (3) 吉田忠雄 (YKK)
- 企業家から見た経営史 (4) 塚本幸一 (ワコール)
- 企業家から見た経営史 (5) 出光佐三 (出光興産)
- 企業家から見た経営史 (6) 本田宗一郎 (本田技研工業)
- 企業家から見た経営史 (7) 土光敏夫 (石川島重工業、東芝)
- 企業家から見た経営史 (8) 安藤百福 (日清食品)
- 企業家から見た経営史 (9) 中内功 (ダイエー)
- 企業家から見た経営史 (10) 稲盛和夫 (京セラ)
- 企業家から見た経営史 (11) 小倉昌男 (ヤマト運輸)
- 企業家から見た経営史 (12) 永守重信 (日本電産)
- 企業家から見た経営史 (13) 鈴木敏文 (セブンイレブンジャパン)
- まとめ

【成績評価方法】

レポート 60% 中間レポートを予定しています (40%) 期末レポートを予定しています (20%)
日常点 (小テスト・課題等) 40%

【教科書】

- 宮本又郎ほか『日本経営史』 有斐閣 2007
- 宮本又郎ほか『1からの経営史』 碩学舎 2014

【参考書、教材等】

- 宇田川勝・中村青志『マテリアル 日本経営史』 有斐閣 1999
 - 宇田川勝・生島淳『企業家に学ぶ日本経営史』 有斐閣 2011
- 参考書を購入しなくても、受講に支障はありません。

※ この授業は、4/5 (水) が初回です。